

## 7月4日朝礼 校長講話

今日は、日本語の豊かさについてお話ししたいと思います。

日本語では、一つのことについて色んな表現があります。ちょっと季節外れなのですが、雨についてお話ししたいと思います。昨日、夕方に降った雨についてお家の人が「夕立だね」という言葉を聞いたかと思います。雨が降る時間帯で名前がついていて夕立とか言うんだよね。それから、雨の降り方でも名前がついていて霧雨とか驟雨とか名前がついています。このほかにも、降る時期によっても名前がついていて。6月に降る雨のことを梅雨と言います。どんな字を書くかというのと、梅、雨と書きます。梅の実がなる時期に降る雨ということ。また、特別な日に降る雨についている名前もあります。7月6日、今週の水曜日だね。この日に降る雨を洗車雨とってこんな字を書きます。車が汚れたから洗うんじゃないよ。7月7日は七夕です。彦星さんが織姫さんに会いに行くのに牛車で出かけるんだけど、その準備のために牛車を洗ったお水が落ちてくると考えて昔の人が名付けたんだね。

同じ雨でも色んな名前がついて、そのほかにも風にも、季節にも、色々なものに名前がついています。日本人の表現の豊かさが感じられますね。

